

## 島に伝わる人形芝居、各座の熱演 ～佐渡人形芝居上演会～

7月18日（日）、両津湊の佐渡島開発総合センターホールで、「佐渡人形芝居上演会」を開催しました。この上演会は、佐渡人形芝居保存会と佐渡文化財団が主催したもので、島内の人形座の調査の一環として開催しました。

また、会場は、ステージや照明などの改修を終えた佐渡島開発総合センターのホールです。この上演会が「こけら落とし」として開催されることとなり、オープニングには住吉で活動している「姐榎」の皆さんによる威勢の良い賑やかな榎ばやしで一気に会場の雰囲気も盛り上がりました。

昭和52年5月に国の重要無形民俗文化財（民俗芸能）に指定された「佐渡の人形芝居」、この日出演したのは、7つの人形座と真野中学校の文弥人形クラブです。

真明座・川野名さんによる「三番叟」で幕を開けた舞台上では、日頃の練習で磨いた各座の熱のこもった芝居が次々に披露されました。

コロナウイルス感染防止のため座席の間隔を空け、座席を120席に制限した会場には、人形芝居を楽しみに待っていた来場者が駆け付け、各座の熱演に引き込まれていました。

総合的な学習の時間で文弥人形に取り組んでいる真野中学校の生徒9名は、地域の指導者から習った人形の立ち振る舞いを大勢の観客の前で披露し、上演後は充実した表情を浮かべていました。

島内の人形座が一堂に会しての上演会であったため、各座の人形、太夫の節回し、舞台の大道具などの違いを観ることができました。また、「のろま人形」では、佐渡の方言で物語が進んでいき、会場の笑いが途絶えることなく最後はお約束の儀式？でさらに盛り上がりました。

佐渡人形芝居保存会の山本修巳副会長は、「久々の人形芝居上演会で懐かしくもあり、また興奮している。各座の洗練された芝居が人々の心に印象的に残ったと思う。」と講評を述べ上演会は閉幕しました。



▲オープニングを飾った「姐榎」

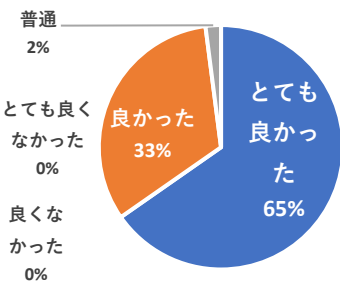


▲真明座の「三番叟」

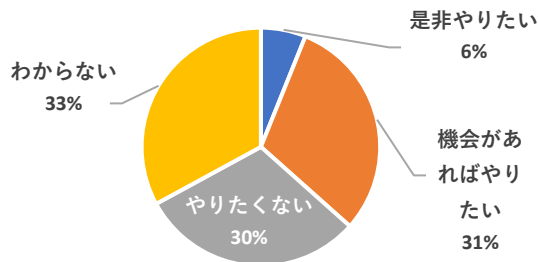


▲真野中生徒、芝居披露

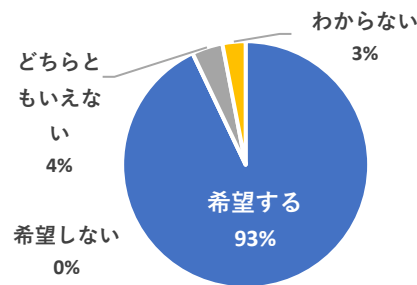
### 上演会はどうでしたか？



### 人形芝居をやりたい？



### 今後も開催を希望しますか？



## 「第5回 佐渡民謡の祝祭」の延期について

今回で5回目となる「佐渡民謡の祝祭」を、アミューズメント佐渡を会場に、8月22日（日）に開催する予定でしたが、コロナウイルスの感染が拡大しており、延期することとなりました。

楽しみにされていた方には、申し訳ございません。今後、開催日などについて、実行委員会で決定した事項はお知らせしていきますので、引き続き、よろしくお願いたします。



# ～ 佐渡博物館からのお知らせ ～

## ■特別展 郷土の作家シリーズ「恩田耕作×酒川哲保 二人展」

佐渡博物館の特別展として、郷土の作家シリーズ「恩田耕作×酒川哲保 二人展」を開催しています。佐渡を代表する画家・恩田耕作氏と佐渡南部地域を中心に活躍した酒川哲保氏の作品をゆっくり鑑賞することができます。

8月8日(日)で前期の展示が終わり、8月10日(火)から9月9日(木)まで後期の展示が始まります。この機会に、2人の作品をご鑑賞ください。

入館料：大人500円、小・中学生200円 15名以上団体は2割引き  
開館時間：午前8時30分～午後5時まで



▲佐渡市HP  
二人展



## ■夏休み企画展「自由研究のタネ～小さな研究者たちと島にひろがる研究のタネ～」

夏休みに入っている児童・生徒を対象に、企画展「自由研究のタネ～小さな研究者たちと島にひろがる研究のタネ～」を開催しています。

過去に科学研究・標本・模型・科学作品で入賞した作品の展示の他、自由研究のヒントとなる佐渡の豊かな自然や文化を背景にした様々な「タネ」を集めた企画展は、9月12日(日)まで開催しています。



▲佐渡市HP  
自由研究のタネ



## 考察 オリンピックと文化プログラム

延期されていた「東京オリンピック2020」が、7月23日から開幕しました。あまり知られていませんが、オリンピック憲章には、「スポーツと文化と教育を融合させること」、また、第5章オリンピック競技大会39条には、「(中略)短くともオリンピック村の開催期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。」と、それぞれ明記されています。開催国には、「文化プログラムの実施」が義務付けられているのです。

コロナ禍で中止となった企画もある中、7月17日に「しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」という文化プログラムがオンラインで実施されました。巨大人形のモッコが復興へのメッセージを世界に発信しました。

佐渡では、2019年6月に、小木B&G海洋センターで「B&G巡回写真展『スポーツのチカラ』」が開催されました。写真展のほか、障害者スポーツへの理解を深める体験会などが実施され多くの人に参加しました。

(参考・画像提供:オリンピック公式ウェブサイト、小木B&G海洋センター)



▲B&G巡回写真展

## 佐渡の芸能を後世へ ～ご寄付・ご支援のお願い～

島に響く太鼓の音、島民の笑顔、子どもたちの輝く目、佐渡の日常には文化・芸能が密接に関わっています。

この日常が次世代へ続くように、当財団では佐渡文化の継承・保存活動に取り組んでおります。

ご賛同いただける方のご支援をお願いしております。詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。



この笑顔、いつまでも残したい

○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。



佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから

